



木栄会通信

全日本木材市場連盟原木部会 ～レポート①～

10月7日(月曜日)に全日本木材市場連盟原木部会が開催されました。全日本木材市場連盟原木部会とは全市連に所属する日本各地の原木市場が参加し原木市況や各地域の課題、取り組みを協議し行政への要望などを話し合う部会です。今回より弊社が原木部会長として会を取りまとめるようになりました。そこで今回は各地域の原木市況などを伝えたいと思います。

(秋田地区)

大型製材工場の仕入れ価格が上昇している。そのため一般製材向けの価格が下がらない。また3.6mの材を伐採する人がいないため一部①7,000円を超えている場合もある。

製品市況は良くないが丸太の出材が伸びないで価格は横ばいになっている。冬季はまだ丸太が集めやすくなると思うので2〜3月は丸太置き場に困るかもしれないと思っている。

(東北エリア)

3〜4mの中目①3,000〜①4,000で例年通りの価格で推移している。ヒノキの母屋角用は②2,000

〇で高値安定、材がもともと少ないのでヒノキ価格は継続して高値圏になると思われる。大型製材工場向けの協定販売を1年前から実施しているの材は増加していくと見込んでいる。

中目は安定して他は厳しい状況、市場に材が戻ってくるようにするのは難しい。住宅の価格も坪単価が100万福島県内)になっていてこれでは売れない。70万円くらいになればと思うている。

(千葉地区)

昨年と比べて量は減少して、売上高は90%程度となっている。6月からの猛暑により入荷・売上共に減少中。

今後、国有林材と森林組合出荷が増えるため期待している。

(東海エリア)

出材は9割程度で売り上げも同等。並材・スギ・ヒノキともに市況変化なし。おおむね並材は今の時期出荷量が増えるが少ない状況である。

そのため相場も強い形になっている。大径材が少なくヒノキの大径材は③30,000〜となり、優良材が入っていない400mmアップ元木などは無いので

①

優良材の強気相場は続くと考えられている。しかしながら、

社等/関の大型物件は少なくあまり需要が無い。最近やっとなぎの目細大径材の引き合いがあったが他は売りにくい状況になっている。

(関西・中国・九州エリアについては来月号へ続きます)

本栄会協賛創立65周年記念市

のご案内

11月28日(金)に、本栄会協賛創立65周年記念市が開催されます。

本来であれば、秋の需要シーズンを迎え荷動きも活発になる時期ですが、今年は厳しい状況が続いている中で本栄会協賛市開催となります。今後の原木、製材品の手当てに是非「来市頂きますよ、つよしく、お願いいたします。市売り企画」ご案内と素材、製品それぞれの出品量予定をご案内いたします。

◎素材集荷量

・一般材 1, 500m³
・優良材 500m³
計 2, 000m³

◎製品集荷量

・本栄会会員材 500m³

11月号
Vol. 148

毎月7日発行



発行所

株式会社 伊万里木材市場本栄会事務局

〒八四九一四二五二

佐賀県伊万里市山代町楠久津一四五番三〇

TEL 〇九五五二一〇二八三 (代表)

FAX 〇九五五二一八二八五

・一般材 1, 000m³
計 1, 500m³

【市売企画共通】

○早出賃

○懸賞金付き販売

【素材】

○伊東「11, 000円」コーナー

○各県、市産材コーナー

○懸賞金付きコーナー

○社長賞

○特産品付き販売

【製品】

○抽選くじ付き (伊万里半・お酒)

○佐賀県産材JASコーナー

○KD・AD材コーナー

○全落コーナー

○居残り賞

※集荷数量、企画については変更の可能性もございます。ご理解お願いいたします。

市売り企画は随時、案内いたします。なお、当日は10時より本栄会会長の挨拶がありますので、早目のご来市をお願いいたします。会長挨拶終了後早出賃の配布を行います。会員の皆様のご来市を従業員一同お待ちしております。



営業所便り
南九州営業

11月に入りようやく朝晩の冷え込みを感じるようになりました。これから寒さも厳しくなつてまいります。体調管理に十分お気を付けください。

それでは南九州営業所の近況報告をいたします。

先月より近隣の原木市場さんの記念市が開催されておりですが各市場さん共に集荷に苦戦されておられるみたいでした。南九州営業所も現状は集荷不足の状況であります。

輸出向け(志布志港、串木野港、川内港)の30cm上(5m材)についてはC材で12,500円/m³、13,300円/m³、30cm上(3m、4m材)

12,000円/m² 828cm(4m材) 11,000円/m² 港着単価と
なっております。30cm上は営業所での買取単価B材4m材と変わらない状況となっております。今後、田安の状況によっては若干の値上がりになるかも

しませんが船賃の上昇もあり大幅に上がる事は無いとは思われます。

また、市場のA材、B材についてはエリアでの違いはありますが南九州営業所から20km圏内(貴州、都城市)で4mA材(16cm×34cm)15,000円/m²前後、B材(同寸法)13,000円/m²で3m材は4m材より+500

市売日予定表

月	市		日
1月	9 ^金	商安 完全 之 締	28 ^金 市 日
2月	10 ^金	締 日	27 ^金 市 日
3月	11 ^金	締 日	27 ^金 市 日
4月	10 ^金	締 日	28 ^金 木栄金協賛特別市 日
5月			28 ^金 市 日
6月	11 ^金	締 日	29 ^金 市 日
7月	10 ^金	締 日	28 ^金 市 日
8月			28 ^金 市 日
9月	11 ^金	締 日	28 ^金 市 日
10月	9 ^金	締 日	27 ^金 大分・福岡両市 日
11月	11 ^金	締 日	28 ^金 市 日
12月	11 ^金	締 日	27 ^金 木栄金協賛 締 日
			21 ^金 納 市

0円/㎡の市況となっております。

年内は横ばい状態で推移するのではないのでしょうか。

さて、入荷不足の対策として南九州営業所では国有林システム材の入荷を後期も頂くように手配しております。

前期からの引き続きの現場は引き取りに注意して配車手配をかけていたので大丈夫ですが、他社からの切り替えて後期から入荷予定現場を訪問してみようとは、かなり虫害が入っており現場によって50%以上のハネ材が出そうなの現場がありそうです。虫害丸太の整木はかなりの効率ロスである事を署の担当官へ連絡はしております。せっかくの製品丸太がバイオ材になるのはとても残念です。前期での配車手配に問題有りではないでしょうか。


最後に行事予定の報告としまして1月28日(金)に本社にて記念会を開催いたします。各営業所からも出材予定をしておりますので皆様のご来場心よりお待ちしております。

（南九州営業所 K所長）

(南九州営業所 K所長)

本社
森林整備便り

今年も終盤に差し掛かり、随分と気温が下がり始めました。木栄会員の皆様、体調等崩されないようお体ご自愛ください。

さて、昨今、野生動物

 による農作物等においての被害、特にクマによる人的被害が多発しています。本州等の山林に行かれる際は十分お気を付けてください。

前々から九州にはなゼクマイがないのか不思議に思っていました。九州は温暖な氣候、豊かな森林があり、生息する多くの個体の疑問ではありますが調べてみるには打って付けの場所じゃないかと……。なんと、以前はいたんです。九州にも、では、なんで現在はいないのか。その原因は九州地方においての人口増加だそうです。

江戸時代から明治時代にかけて人口増加による宅地化や林業の発展により

息する原生林の減少、そのため農作物を荒らすことにより狩猟や駆除の対象となったようです。ま

環境省発信

令和7年度のクマの出没や被害状況について

○令和7年度のクマによる死亡事故概要

(令和7年10月30日現在)

件数	日時	場所
1	6月22日	長野県大町市
2	7月4日	岩手県北上市
3	7月12日	北海道福島町
4	7月31日	秋田県北秋田市
5	8月14日	北海道斜里町
6	10月3日	宮城県栗原市
7	10月8日	岩手県北上市
8	10月10日	岩手県磐石町
9	10月16日	岩手県北上市
10	10月24日	秋田県東成瀬村
11	10月27日	岩手県一関市
12	10月27日	秋田県秋田市

○令和7年度のクマが原因と疑われる死亡等

事故概要（令和7年10月30日現在）

件数	日時	場所
1	10月3日	宮城県栗原市

た、地理的要因においても九州は海で囲われているため本州などから海を越えてこなかったということです。

最後の生熊捕獲の記録としては、1987年大分県で捕獲されたオス個体が最後で、2002年環境省より九州のツキ

ノワグマは事実上絶滅したと宣言が
あつてゐます。13年前まで居たんだと思
ひました。意外と最近です…
前項述べた理由で九州にはいないんで
すね。

九州の熊がある県や市町村はやっぱり由来でついたんですね。佐賀県でも熊や隈が付く地名には昔はいたんだなと思った今日この頃でした。

●クマ被害地図で見る 全国各地の熊の
出没地点まとめ Japan Bear
Sighting Map
<https://news.tv->

<https://news.tv->

asahi.co.jp/special/202506bear



木材動向②

住宅着工統計

2025年03月1日発表09月分
出典…建築着工統計調査報告

概況コメント

◎ 9月の新設住宅着工は、持家貸家分した住宅が減少したため、全体で前年同月比7.3%の減少となった。また、季節調整季率換算値では前月比2.4%の増加となった。

全国工法別

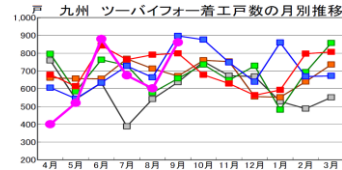
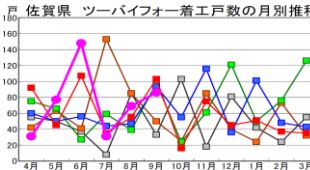
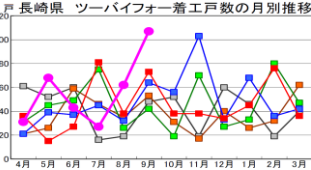
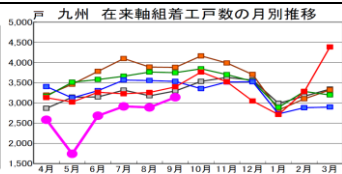
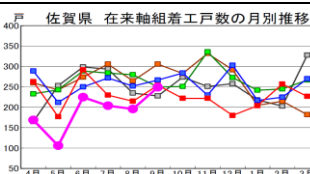
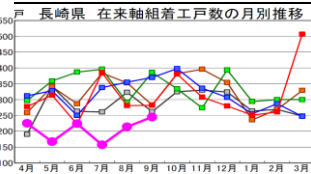
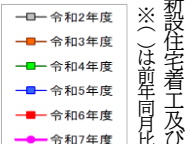
	木造	在来	2×4	木質7/11A
戸数	40,060	30,034	9,033	993
前年同月比	-2.2%	-35%	2.1%	±0%

◎ 木質
工法別にみると、木質7/11Aは前月比2.4%の増加となった。また、季節調整季率換算値では前月比2.4%の増加となった。

全国利用関係別

	合計	持家	貸家	分譲	マンション	戸建
戸数	63,570	18,273	28,494	16,428	6,121	10,072
前年同月比	-9.8%	-10.6%	-8.1%	-8.2%	-18.0%	-1.1%

◎九州地区の9月の新設住宅着工及び在来軸組2×4戸数※(は前年同月比九州6,614戸4.9%減、3,139戸7.6%減、861戸7.8%増)



編集後記

◎秋らしくなってきたと思ったら、すぐに冬がやってきた感があるが、やっと紅葉の季節となった。しかし、今年は、スナなど聞く聞かれる異変で紅葉、ポットもピンチらしい。それは、赤や黄色に美しく色づく前に、葉が茶色くなって落ちてしまう「早期落葉」が多くみられる。言われてみれば、この辺りの街路樹も色づいた木々の中に茶色が混じっている。同じ並木なのに枯れている木と紅葉している木の違いはなんなのだろうか？そもそも紅葉の仕組みはなんなのかわかりませんに聞くと、木が冬を乗り越えるための「省エネモード」へ切り替えるからだそう。葉っぱの緑

色はクロロフィルという色素によって作られていて、光合成に必要な成分で、秋になって気温が下がると、木は冬に備えて葉を落とす準備を始め、その過程で、葉のクロロフィルが分解されて減少し、もともと葉に含まれていた「カロテノイド(黄色)」や「アントシアニン(赤色)」といった色素が目立つようになり、葉の色が変わって見えるからそうだ。では、枯れているのは、痛痒で強い紫外線、長期間さらされ、葉焼けを起し、少雨で水分補給ができず、生長に必要な水分を確保するために葉っぱを落とすからだ。木も夏バテしているらしい。他にも外来種の幼虫に食べられ葉が枯れたものもあるらしい。私たちに日陰を作ってくれるけれど、強い日差しに木も環境に対応するのは大変そう。

木栄会協賛 創立65周年 記念市

皆様のご来市を心よりお待ちしております。

2025
11/28(金)
10時
開市

10月より木栄会会費よりご寄付がります

ただいまイベント企画中！
イベントが決まり次第順次お知らせします！
乞うご期待！！



伊万里木材市場



株式会社 伊万里木材市場

〒849-4252
佐賀県伊万里市山田町1丁目1番地30

Tel. 0955-20-2183
FAX 0955-28-1855

伊万里木材市場

